

2024年8月

金沢大学
小早川 凜奈

イギリス
ロンドン
8月5日~23日

University College London (UCL)報告

【目的】

UCLが主催するサマースクールの中の英語コースは、コミュニケーション能力の向上に重きを置いた課題解決型の活動を通して、英語の4技能を伸ばすプログラムである。少人数のクラスで授業が行われ、英語の語学的な授業だけでなく、英語でプレゼンテーションをする授業や論文の書き方を学ぶ授業、また受講者と共にロンドンで有名な博物館や植物園等に行く時間も週に2, 3回ほどある。

イギリスにいる間は大学の寮で過ごすため、常に英語での会話が求められ、UCLの学生と交流する機会もあり、普段の生活の中でも英語で話す環境が自然と作り出され、英語力の向上を図る。

【報告】

サマーコースの参加者が80人ほどいたが、50~60人が日本人であり驚いた。日本人と日本語を話すことも多々あったが、積極的に他の国の学生と話そうと決め、授業でのグループ活動は日本人1人で組んだ。まだまだ話せるようにはなっていないが、イギリスに行っていなかったら今後もっと英語から避けていたように思うため、行って本当に良かった。貴重な体験が出来た。



イギリスの大学の授業では、大学の敷地内にいる学生にグループごとに決めたトピックについてインタビューを行い、それをレポートにまとめ、プレゼンを行いました。レポートはインフォーマルに書かなければいけなかったため、とても難しかったです。大学の図書館にこもってレポートを書いたのもいい思い出です。

これらのグラフはグループのメンバーで協力して作成したものです。1人でもグループでも何度もプレゼンの練習を重ね、本番では納得のいく発表が出来ました。

